鎌倉時代

名前

問1　鎌倉時代の主従関係において、将軍から御家人へ与えられる「御恩」のうち、御家人が以前から所有していた領地の支配権を将軍が改めて保証することを何といいますか。（2021年 福島県公立入試 類似）

1. 地頭職
2. 本領安堵
3. 新恩給与
4. 検地

問2　13世紀後半の東アジア情勢と日本との関係について説明した文として、正しいものはどれですか。当時の中国大陸における王朝の交代と、その影響を正しく述べているものを選びなさい。（2020年 熊本県公立入試 類似）

1. 南宋の皇帝がモンゴル帝国を退けたことで、日本と南宋の間の貿易は鎌倉時代末期まで安定して継続した。
2. 元の皇帝は、足利義満との間で日明貿易（勘合貿易）を開始し、東アジアの海上秩序を安定させた。
3. フビライ＝ハンが南宋を滅ぼして元を建国し、中国を統一したあと、日本へも服従を求めて2度の遠征を行った。
4. チンギス＝ハンが南宋を滅ぼして元を建国し、日宋貿易をさらに拡大させるために日本へ使節を送った。

問3　13世紀、モンゴル帝国の第5代皇帝であるフビライ・ハンに長年仕えたイタリア出身の旅行家で、帰国後にアジア各地の情勢を「東方見聞録」としてまとめた人物は誰ですか。（2026年 青森県公立入試 類似）

1. イブン・バットゥータ
2. マルコ・ポーロ
3. 北条泰時
4. ヴァスコ・ダ・ガマ

問4　現在の福岡県にある博多湾沿岸の地形図において、海岸線に沿って「史跡」として記されている、鎌倉時代に石を積み上げて作られた構造物の名称を選びなさい。（2017年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 環濠集落
2. 水城
3. 元寇防塁
4. 金田城

問5　1221年、鎌倉幕府の混乱に乗じて朝廷の権力を取り戻そうとした後鳥羽上皇が、幕府を倒すために兵を挙げた出来事を何といいますか。（2021年 愛媛県公立入試 類似）

1. 応仁の乱
2. 平治の乱
3. 保元の乱
4. 承久の乱

問6　鎌倉時代に成立した、平氏一門の繁栄から滅亡までの過程を描いた軍記物語の代表作は何ですか。また、その作品が広く一般に普及した理由として最も適切な説明を選びなさい。（2020年 大阪府公立入試 類似）

1. 古事記：武士が戦場での士気を高めるために、陣中で一斉に音読したため
2. 方丈記：鴨長明が各地の寺院を巡り、仏教の教えとともに朗読して回ったため。
3. 新古今和歌集：朝廷が全国の国司に対して、書き写して配布するように命じたため。
4. 平家物語：琵琶法師と呼ばれる人々が、琵琶の音色に合わせて語り歩いたため。

問7　13世紀後半におけるモンゴル帝国の動向をまとめた記録において、1260年に皇帝に即位したフビライ・ハンが行った東アジアにおける勢力拡大の説明として正しいものはどれですか。（2024年 京都府公立入試 類似）

1. 朝鮮半島の百済を服属させたのち、1276年に中国の宋を滅ぼして支配を確立した
2. 朝鮮半島の高麗を服属させたのち、1276年に中国の宋を滅ぼして支配を確立した
3. 朝鮮半島の高麗を服属させたのち、1276年に中国の明を滅ぼして支配を確立した
4. 朝鮮半島の百済を服属させたのち、1276年に中国の元を滅ぼして支配を確立した

問8　馬を用いた運送業者である馬借が活動するなど、中世の経済が変化していく中で出された「永仁の徳政令」の内容について述べた文として、正しいものはどれですか。（2020年 京都府公立入試 類似）

1. 全ての国民に対して、幕府が所有する土地を一律に分配し直した
2. 外国船の来航を禁止し、国内の運送業者による独占的な貿易を認めた
3. 戦争のために必要な物資や労働力を、政府が強制的に動員できるようにした
4. 御家人が借金の担保として手放した領地を、無償で取り戻せるようにした

問9　一二三二年に制定された御成敗式目の目的や性質に関する説明として、最も適切なものはどれですか。（2022年 高知県公立入試 類似）

1. 鎌倉時代初期の源頼朝が、朝廷から征夷大将軍に任命されるための条件を明文化する。
2. 地頭などの御家人による土地争いを公平に裁く基準を定め、幕府の統治を安定させる。
3. 北条時宗が二度の元寇に際し、九州の防備を固めるために武士の動員体制を法制化する。
4. 有力な家臣の合議制を廃止し、執権がすべての実権を握る独裁的な政治体制を確立する。

問10　鎌倉幕府が守護と地頭を設置した歴史的な背景と、その後の社会に与えた影響に関する説明として、最も適切なものはどれですか。（2020年 東京都公立入試 類似）

1. 守護と地頭の役割は、すべての公家や寺社の権利を完全に奪い、土地をすべて武士の私有地にするためのものであった
2. 江戸時代のように藩が確立されるまでの間、地頭は天皇から直接領地を安堵される立場として機能した
3. 守護や地頭の設置により、平安時代から続く荘園公領制の中に幕府の支配力が入り込むことになった
4. 源頼朝は全国の土地の質や面積を調べる検地を行うために、守護と地頭の制度を創設した

問11　元寇の際、北条時宗が幕府の最高責任者として行った対応と、その後の社会への影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2021年 福島県公立入試 類似）

1. 防衛戦であり、新たに獲得した土地がなかったため、参戦した御家人に十分な恩賞を与えることができなかった。
2. 御家人たちの負担を減らすため、全ての軍役を免除し、幕府の直轄軍のみで防衛にあたった。
3. 元の優れた兵器に対抗するため、鉄砲を大量に輸入して九州沿岸の警備を強化した。
4. 朝廷と協力して元と和平交渉を行い、博多の港を元に割譲することで侵攻を食い止めた。

問12　現在の山口県下関市の南端に位置する壇ノ浦は、源平合戦の最後の舞台となった地です。この地で平氏が滅亡するまでの様子を記した物語の名称と、その作品の種類として正しい組み合わせはどれですか。（2016年 長崎県公立入試 類似）

1. 土佐日記 ― 日記文学
2. 平家物語 ― 軍記物語
3. 太平記 ― 軍記物語
4. 源氏物語 ― 作り物語

問13　鎌倉幕府の歴史書である「吾妻鏡（あずまかがみ）」には、1221年に起こった承久の乱の際、北条政子が御家人たちを前にして行った演説の内容が記されています。この承久の乱において幕府方が勝利した結果、幕府の支配権はどのように変化しましたか。（2026年 山梨県公立入試 類似）

1. 元（モンゴル）の侵攻を退けた後、恩賞として西国の土地を分配したことで、九州地方の支配を固めた。
2. 乱の後に朝廷側の所領を没収し、新たに地頭を任命したことで、幕府の支配が西国（西日本）にまで及んだ。
3. 平氏を滅ぼしたことで、源頼朝が全国に守護・地頭を設置する権利を獲得した。
4. 奥州藤原氏を滅ぼしたことで、それまで独立していた東北地方を幕府の直接支配下に置いた。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 本領安堵	将軍から御家人への「御恩」は、大きく分けて二つの形があります。一つは元からの領地支配を認める「本領安堵（ほんりょうあんど）」、もう一つは手柄に応じて新しい土地を与える「新恩給与（しんおんきゅうよ）」です。武士にとって土地は生活の基盤であり、命をかけて守る対象であったため、これを将軍が保証することが強力な主従関係の核心となりました。
問2	答え 3 フビライ＝ハンが南宋を滅ぼして元を建国し、中国を統一したあと、日本へも服従を求めて2度の遠征を行った。	モンゴル帝国の拡大により、それまで日本（平氏や鎌倉幕府）が貿易を行っていた南宋が滅ぼされ、元の皇帝であるフビライ＝ハンによる統治が始まりました。元は周辺諸国に服従を要求し、それに応じなかった日本に対して大規模な艦隊を派遣したのが「元寇」の背景です。チンギス＝ハンは帝国の創設者ですが、元の建国や南宋の滅亡、日本侵攻は孫のフビライの時代の出来事です。
問3	答え 2 マルコ・ポーロ	ヴェネツィア出身の商人であるマルコ・ポーロは、元（モンゴル帝国）を訪れてフビライ・ハンに重用されました。彼がアジアでの見聞を記した「東方見聞録」は、当時のヨーロッパの人々に東アジアへの関心を抱かせる大きなきっかけとなりました。選択肢にあるイブン・バットゥータは14世紀のイスラム世界の旅行家、北条泰時は日本の鎌倉幕府第3代執権です。
問4	答え 3 元寇防塁	九州北部の海岸沿いに復元された石垣や、地図上で史跡として示されているこの構造物は、元の攻撃を防ぐために築かれた元寇防塁です。同じ九州北部には、古代に唐や新羅の侵攻に備えて築かれた「水城」などの防衛施設もありますが、13世紀のモンゴル襲来に関連するものは元寇防塁と呼ばれます。
問5	答え 4 承久の乱	鎌倉幕府の3代将軍・源実朝が暗殺された後の混乱を機に、後鳥羽上皇が執権の北条義時を討つよう命じて起こした反乱です。幕府軍が勝利した結果、朝廷を監視するために六波羅探題が設置され、幕府の支配力が西日本にも強く及ぶようになりました。応仁の乱は室町時代に起こった戦いです。
問6	答え 4 平家物語：琵琶法師と呼ばれる人々が、琵琶の音色に合わせて語り歩いたため。	鎌倉時代には、武士の活躍や合戦の様子を描いた「軍記物語」という新しい形式の文学が登場しました。その代表格である『平家物語』は、盲目の僧侶である琵琶法師が各地で語り聞かせたことにより、文字が読めない人々も含めて幅広く浸透しました。この作品には、万物は常に変化し続けるという「無常観」という仏教的思想が強く反映されているのも特徴です。
問7	答え 2 朝鮮半島の高麗を服属させたのち、1276年に中国の宋を滅ぼして支配を確立した	モンゴル帝国の第5代皇帝フビライ・ハンは、即位後に東アジア方面への進出を本格化させました。まず朝鮮半島の高麗を服属させて自国の影響下に置き、その後、1276年に南宋（宋）を滅ぼすことで、中国全土を支配する体制を築き上げました。選択肢にある「百済」は飛鳥時代以前、「明」はモンゴル帝国の支配（元）の後に興った王朝であるため、この時代の説明としては不適切です。
問8	答え 4 御家人が借金の担保として手放した領地を、無償で取り戻せるようにした	1297年に出された永仁の徳政令では、御家人が借金の形として質に入れたり売却したりした領地について、一定の条件のもとで無償で元の持ち主に返すよう命じました。これにより、御家人の経済的基盤である土地を守ろうとしましたが、かえって金融業者が武士への貸し付けを拒むようになり、経済を混乱させる結果にもなりました。
問9	答え 2 地頭などの御家人による土地争いを公平に裁く基準を定め、幕府の統治を安定させる。	御成敗式目は、執権政治を確立させた北条泰時が、武士の間に広がっていた土地をめぐる争いを解決するために作成したものです。これにより、幕府の裁判が明確な法に基づいたものになり、御家人からの信頼を高めることにつながりました。この法律はあくまで幕府の支配下にある武士や土地に適用されるもので、当初は朝廷の支配地には適用されませんでしたが、のちの武家政治における法の基本（よりどころ）となりました。
問10	答え 3 守護や地頭の設置により、平安時代から続く荘園公領制の中に幕府の支配力が入り込むことになった	鎌倉時代初期、日本の土地の多くは依然として貴族や寺社が所有する「荘園」や、国司が管理する「公領」という形で存在していました。頼朝がそこに武士（御家人）を地頭として送り込んだことは、既存の支配体系の中に武家政権の影響力を浸透させる大きな転換点となりました。なお、検地は主に豊臣秀吉の時代、藩は江戸時代の仕組みであり、これらは鎌倉時代の状況とは異なります。
問11	答え 1 防衛戦であり、新たに獲得した土地がなかったため、参戦した御家人に十分な恩賞を与えることができなかった。	元寇は日本を侵略から守るための防衛戦であったため、戦勝によって敵から奪った土地などを確保することができず、幕府は命がけで戦った御家人たちに十分な「恩賞」を与えることができませんでした。自費で軍役を負担した御家人たちの生活は困窮し、これが幕府に対する不満へとつながり、鎌倉幕府が衰退する大きな要因となりました。
問12	答え 2 平家物語 ― 軍記物語	壇ノ浦の戦いなどの実際の合戦を題材に、武士の活躍や悲劇を描いた文学作品は軍記物語と呼ばれます。平氏の滅亡を描いた『平家物語』はその代表例であり、鎌倉時代に成立しました。
問13	答え 2 乱の後に朝廷側の所領を没収し、新たに地頭を任命したことで、幕府の支配が西国（西日本）にまで及んだ。	承久の乱は、後鳥羽上皇が幕府を倒そうとして兵を挙げた事件です。この時、北条政子は御家人たちに対し、初代将軍である源頼朝が与えた恩義の大きさを訴えて団結を促しました。乱に勝利した幕府は、朝廷側の貴族や武士から没収した土地に「新補地頭」を配置しました。これにより、それまで朝廷の勢力が強かった西国（西日本）においても、幕府の支配力が決定的に強まることとなりました。